

外環トンネル工事が破壊した 私たちの地盤・平穏な暮らし

専門家も指摘! 雑な事前調査

昨年10月18日、東つつじヶ丘2丁目の住宅街が突如陥没。外環道トンネル工事が原因の事故で、平穏な暮らしは文字通り「根底から」奪われました。

直径16m(4階建てビル相当)の巨大地下トンネルを南北16kmにわたって住宅地の下で掘削する前例のない工事です。複雑に変化する地層を把握するには最低でも200m間隔と言われるボーリング調査が、この区間だけ1kmにわたって実施されなかったことについて、専門家は「あまりにも非常識。この事前調査軽視こそが一番明白な事業者の過失」と指摘します。ルート上には3ヵ所の適地があったのになぜボーリングをしなかったのか。その問いに正面から答えず、「特殊な地盤」を言い訳にする事業者が許されるはずはありません。

工事中断中も続く住民の苦しみ



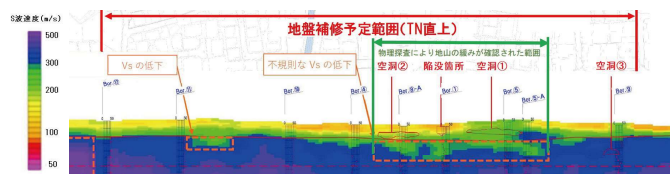
陥没の1ヶ月以上前の8月～9月にかけて、広範囲の住民が振動・騒音・低周波音被害を訴える中、工事は続行されました。家に居られないほどの揺れや騒音が1日に10～14時間、数週間にわたって続き、家屋の損傷だけでなく、心身にも深刻な影響を及ぼしました。今も低周波音に苦しむ住民が少なくありません。

説明も尽くさず「仮移転」とは



私たちの家の下の地盤がどれほど破壊されてしまったのか説明がないまま、4月初旬の住民説明会では「地盤改良のため更地にするので仮移転が必要」という話が唐突に出されました。家も土地も住民のものです。被害範囲はトンネル直上だけなのか? 地盤改良後の安全性や環境への影響は? ましてやすぐ隣りに2本目のトンネルが掘られればこの地域はどうなるのか…。住民の合意なくして仮移転も工事再開もあり得ません。地上の住民に無補償でただリスクだけを負わせる「大深度地下法」自体が問われる問題です。

(東つつじヶ丘在住 被害住民)



NEXCO東日本の資料より。赤いほど地盤の緩みが大きい。陥没地点を中心に緩みが南北に広がっているのが分かる。事業者は、東西方向への緩みの広がりも徹底的に調査するとともに、工事が引き起こした地盤の緩みと今も続く低周波音被害との関連性についても調査し、負うべき責任と真摯に向き合うべきだ。

野川の生き物調査から

調布市を東西に貫いて流れる野川は、上流に山を持たない都市河川です。水源の国分寺市の湧き水と国分寺崖線の地下水を集めて流れています。2021年3月20日、佐須用水が流れ込む細田橋の下で、野川に住む魚や水生生物の調査を行いました。

曇り空の下、気温13℃、水温は12℃で風もなく、流速3cm/秒と穏やかな流れでした。深大寺の地下水由来の佐須用水の水温は15℃で、冬の地下水の温かさを証明。

野川での調査を始めたのは、野川は湧水が流れるきれいな川で、多様な生き物や植物が生息する場であることを証明するためでした。その環境と景観を守るためにもここに下水処理水を流すようなことをしてはならないと、当時計画されていた野川下水処理場構想を阻止する目的からでした。

現在は洪水時の下水の越流を防ぐ対策も少しずつ進み、野川沿いの散策路も整備されてきています。30年前からこうした調査を続けてきましたが、その年の気象状況や季節によって野川に生息する生物のあり様は本当に様々です。私が参加した中でも、湯水でミズムシしかないということもありましたが、今回はかなり多くの生き物、それも比較的きれいな水に住むビケラやカゲロウ、カワナなどの生物にも出会えた観察会でした。(AY)



左写真: 調査の最後は、川で見つけた魚や昆虫を観察して同定(種を見分けること)します。そこから川的环境が分かります。もちろん観察後は川に戻します。
右写真: 魚類ではアブラハヤの割合が多かったです。

活動報告

- 2/11 調布未来のエネルギー協議会主催講演会(奥真美氏)
- 2/15 HPVワクチン薬害東京訴訟 期日報告集会
- 2/17 東京都ひとり親家庭支援センターはあと多摩視察
- 2/22 第3回調布市環境保全審議会傍聴
- 2/24 第2回調布市教育委員会傍聴
- 3/1～3/24 調布市議会第一回定例会
- 3/10 東京都建設局主催 入間川分水路視察
- 3/13 調布市台風第19号に伴う浸水被害に関する住民説明会
- 3/22 第6回調布市緑の基本計画策定委員会傍聴
- 3/24 調布市調布駅前広場の整備計画図案についての説明会
- 3/25 調布市第2回総合福祉センターの整備に関する検討会傍聴
- 3/26 第3回調布市教育委員会傍聴
第5回調布市環境基本計画改定委員会傍聴
- 3/27 西部公民館「コロナ禍の後『公共』の復興を」(西谷修氏)
- 3/29 東京・生活者ネットワーク主催緊急学習会
「生かそう! 東京都子ども基本条例」(森田明美氏)
外環被害住民連絡会主催 地盤勉強会(稲積真哉氏)
- 3/30 西部公民館「考えよう食の未来 コロナ禍で見た食糧自給率37%の現実と問題点」(内田聖子氏)
- 4/3 NEXCO東日本 陥没事象の調査結果と分析・対策の説明会
- 4/11 八王子・生活者ネットワーク主催
「学校給食を有機農薬食材にする作戦会議」
- 4/14 東京・生活者ネットワーク主催
ワークス法(労働者協同組合法)学習会(小柳智恵氏)

